

テクニカルエリア内について(スタッフ・交代要員用)

2024年度版

東京都高体連サッカー専門部女子審判委員会

テクニカルエリア内での行動について

0. テクニカルエリア内では常に責任ある行動をとる(メンバー表に記載されている人のみ入ることができます)

1. 注意となる事象

副審や第4の審判員の指示または要求を無視するなど、審判員に協力しない決定に対して軽度の不満を示す

他の反側を行うことなく、時折テクニカルエリアから出る

※繰り返し、または露骨に行うと、警告または退場となる

2. 警告(一部)

明らかに、または繰り返して自分のチームのテクニカルエリアから出る

自分のチームの再開を遅らせる

言動や行動による異議を示す

審判員に対するリスペクトを明らかに欠いた行動をとる(皮肉な拍手など)

過度に、または繰り返し、レッドカードやイエローカードを求める身振りをする

挑発するような、または相手の感情を刺激するような行動をとる

容認できない行為を繰り返し行う

試合にとってリスペクトに欠ける行為を行う

3. 退場

相手チームのプレーの再開を遅らせる

テクニカルエリアを出て

審判員に対して異議を示す、または抗議する

挑発するような、または相手の感情を刺激するような行動をとる

競技のフィールドに入り

審判員と対立する(ハーフタイムと試合終了後を含む)

プレー、相手競技者または審判員を妨害する

すべての人に対し、身体的または攻撃的な行動をとる

攻撃的な、侮辱的な、もしくは下品な発言をする、または行動をとる

乱暴な行為を行う

4. その他

相手チーム・競技者はもちろんですが、自チームに対してもプレーを嘲笑したり、容認できない発言があった場合は、状況により懲戒罰、報告の対象になります

リスペクトの精神はサッカーに関わるすべての人へ意識してください

なお、テクニカルエリア内で懲戒罰の対象者が特定出来ない場合は、上位のコーチ

が懲戒罰の対象となります。

5. お願い

審判員は常に正しい判定を心がけようと努力しております。ただし、常に正しい判定が出来ないのも事実です。選手同様にミスする時もありますが、審判チームの判定は受け入れてください。

許容範囲のアピールはサッカーの一部として受け入れられますが、過度なアピールは認められません。また異議は受け入れることはできません。

審判員がより良い判定を下していくために、東京の大会においては、試合後にチーム関係者と審判員が対立したり、不満を示すことなく、お互いのために意見交換をすることは否定しませんが、もし対立したり不満を示すようなことがあった場合は、会場責任者が審判委員会に連絡をするようにしてください。

必ず第三者がいるようにしてください。

あくまでリスペクトを忘れずに、それぞれの見解を尊重し、サッカーがより良いものになるためにご協力ください。

審判員の普及・育成・強化は永続的な課題となっております。

特に高校生が審判員に挑戦する環境を作ることも女子サッカーを発展させていくためにも必要不可欠と認識しております。ぜひとも、高校の指導者の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いたします。